



# 県評しずおか

## 静岡県労働組合評議会

〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 交通ビル3階  
TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973  
Eメール kenpyo@mail.wbs.ne.jp



### すべての労働者の大幅賃上げを

3月9日、集中回答日翌日の10日「22春闘全国統一行動」を取り組み「すべての労働者の大幅賃上げ」「ロシア政府によるウクライナ侵攻即時中止」などを訴え、春闘要求実現に向け朝の宣伝、争議支援など行いました。

#### JMITU通信産業労組 ストライキ決行

通信産業労組静岡支部は、統一回答指定日の3月9日、回答は「ゼロ」姿勢に10日、静岡市の電ビル前で、大幅賃上げ・労働時間短縮など春闘要求実現をかねて始業時から10時までの時限ストライキを決行しました。



ストライキの支援に駆け付けた仲間と通信産業労組組合員（上）要求実現を目指しシュプレヒコール（右）=3月9日



生活必需品の高騰で生活が苦しくなり生活を守るために大幅賃上げが必要だ。N.T.Tは8.9兆円を超える内部留保を抱え、株主配当も増やしている。内部留保を取り崩し全社員に賃上

「このストライキに、県評はじめ静岡地区労連の仲間が支援に駆け付けました。静岡駅地下道で、7時15分より春闘チラシを配布しました。」

#### 静岡駅地下道で春闘宣伝

春闘共同会議の菊池議長は「新型コロナウイルスの影響が非正規労働者に大きくのしかかり、物価の上昇が生活を脅かしている。暮らしの改善、景気の回復のために最低賃金を全国一律1500円に」「ケア労働者の賃上げ・増員」また「大企業は内部留保を466兆円と過

#### 春闘要求で 静岡県・経営者団体と懇談

新型コロナウイルスの感染拡大によって、労働者・住民のいのちと暮らしが深刻な事態となっております。このような状況の改善に向け「コロナ禍、地域経済を守る施策」「最低賃金を1500円に」など5項目について、経営者団体と静岡県へ要請・懇談をしました。3月17日、中小企業団体中央会「コロナ禍でホテル、



飲食業など大きな打撃を受けている。その上に原油高で大変な状況にある。インボイス制度導入については中小企業にとって大きな負担となる」3月18日、県商工会議所連合会「コロナ禍で大変な状況にある。国や県に対し支援を要請している」「最低賃金の引上げは賛成だが、今引き上げるのは賛成でき

3月25日には経営者協会、3月29日、商工会連合会と懇談しました。静岡県と3月30日要請と懇談を行い、公契約条例・コロナ感染防止対策・ケア労働者の待遇改善・県内企業に大幅賃上げの要請や中小企業支援などについて要請し懇談をしました。上から、中小企業団体中央会・県商工会議所連合会・中小企業家同友会・経営者協会・静岡県



#### スズキ補助金訴訟 第5回口頭弁論

第5回スズキ補助金裁判が3月24日静岡地方裁判所で行われました。スズキが、検査データや完成車検査で不祥事が相次いでいるにもかかわらず松市が補助金約43億5000万円を交付し、申請時にコンプラ



裁判終了後の報告集会=3月24日、あざれあ

イアンズ違反のないことを要件とする市要綱に反するとして、補助金の返還を求めたものです。

第5回口頭弁論で市側は「コンプライアンス条項は内部基準（行政規則）であり法的拘束力はない。違法となるのは一定の基準を超えた場合に限り」「住民の福祉向上のために交付の要否は政治的、政策的裁量が認められる行為に、市長に広範な裁量が認められる」などの準備書面を提出しました。また、裁判長より争点整理するために次回は非公開の進行協議となりました。6月7日15時 進行協議 8月4日15時 口頭弁論

#### ロシアは軍事侵攻やめよ！ ウクライナ市民のいのちを奪うな！ 支援募金75287円集まる



ロシアは戦争をやめよと訴える菊池議長=3月15日、静岡駅北口地下道



静岡県評は3月15日、静岡駅地下道でウクライナへの募金活動を行い75287円集まり、ユニセフと国連難民高等弁務官事務所に募金を渡しました。ロシアはウクライナへ軍事侵攻し、病院や学校などへ攻撃し市民の犠牲は増え続けています。世界中で「ロシアは戦争止めよ」の声が広がっています。ロシアは「ウクライナから即時無条件撤退」すべきです。紛争の平和的解決を定め

た国連憲章と国際法に基づいて外交的な努力を尽くすことが重要です。安倍元首相は「核共有」について「議論は行っていくべきだ」と、高市早苗政調会長は非核三原則を見直す議論に意欲を示し、日本維新の会は「核共有」の議論を開始する「緊急提言」をしています。「力には力」とひたすら陥ってしまえば、プーチン大統領と同じ立場に立つこととなります。「核のない世界」を目指す国際的な流れに逆行するものです。ウクライナ市民のための人道的な支援をしていきましょう。

# 今こそ平和の道を選ぶべき 「9条」の出番だ

静岡県憲法共同センター2022年総会が3月27日静岡市のあざれあで開催され、オンラインを含め約100名が参加しました。



世界に憲法9条を掲げようとする伊藤氏。3月27日、あざれあは、ロシアは、ウクライナに一部支配地域を作

記念講演はジャーナリストの伊藤千尋さん（9条の会世話人）が「今こそ憲法9条を生かすとき、改憲の動きを逆転させるために」と題して行いました。ロシアがウクライナへ軍事侵攻しているという事実もありウクライナ情勢と9条について話されました。ウクライナは文豪ゴッリキや作曲家チャイコフスキーを生んだ国。ロシアはウクライナを「小ロシア」と呼んで支配してきた。ロシアは侵略の理由に「ウクライナはロシアの一部、そこにNATOが拡大してきた」と言うがそれは違う。

## ジェンダー不平等を解消するために 女性議員を増やそう

2022国際女性デー静岡県集会

3月5日、静岡市のあざれあオンライン併用で国際女性デー静岡県集会が開催されました。実行委員長の高池梓さんは「ロシアのウクライナ侵攻は女性の自由と平等のためにたたかう国際女性デーの理念に真つ向から対立するものであり抗議の声を上げていきましょう」と呼びかけました。

小笠原夏弁護士が「なぜ日本のジェンダー平等は進まないのか？」自民党政案がしめす『個』をみると、各分野からの現状報告「コロナ対策で仕事量が加し、子どもとの触れ合いが減少し心配だ。保育士の給料の低さが際立ち命を守



2022年国際女性デー静岡県集会

り独立を承認し「ロシア住民の保護」と軍隊を派遣した。国際法に違反した行動だ。この侵攻は「国連憲章国際法」に違反している。国連総会緊急特別会合でロシアのウクライナ侵攻に対し、人道決議を賛成140カ国、反対5カ国、棄権38カ国で採択した。世界から反戦の声が大きくなりロシア国内でも反戦デモが起きている。世界の人々は「戦争やめろ」で声を上げている。

## 福島原発事故は、いまだ終わっていない

### 3・11福島を忘れないメモリアルアクション

福島の原発事故から11年目の3月11日に、原発なくす静岡の会&金曜アクション@静岡の呼びかけで「3・11福島を忘れないメモリアルアクション」を午後4時より静岡駅地下道で行いました。福島原発内部には、いまだり育てる仕事の重要さが見直されていない（保育）「小中一貫校の構想が県内で進んでいる。規模が拡大男女平等の日本に話す小笠原弁護士」3月5日

岸田政権は「憲法改正の実現を目指し」「敵基地攻撃能力を検討する」とブーチン化している。また日本は世界5位の軍事大国だ。沖縄では陸上自衛隊のレーダーサイトやミサイル基地を作っている。今こそ平和の道を選ぶべき「9条」の出番だ。世界に憲法9条を掲げよう、「力の対決」は、いつか大衝突となる。対話こそ平和を生み出す、と語りました。

働くものの団結で生活と権利を守り、平和と中立の日本をめざそう

一コマ漫画

3月10日、定例研究会が行われました。「障害者政策とSDGs」と題して、磯野博氏（日本医療総合研究所協力研究員）が報告しました。障害者政策を充実させてゆくためにも、SDGsの障害者に関する部分をクローズアップしていくことが必要です。しかし日本では多くのデータが公表されておらず、それは障害者に関するデータそのものが乏しいことにあります。最近やつと社会生活基本調査などの国の基幹統計で、障害者の項目が入り、定量的なデータとして示されることになりました。障害者団体の運動では事例研究は進んでいますが、定量的データが少ないため客観性に問が懸念されます。」

よう奮闘しよう」また、「ロシアのウクライナ侵略に抗議する特別決議」を採択しました。

## 障害者政策とSDGs

### 静岡県労働研究所 No.79

題がありました。こうした基幹統計のデータを二次利用することにより、障害者政策の発展に寄与していくことが求められます。「SDGs スポットライトレポート2021」は、SDGs市民社会ネットワークがSDGs達成に向けて現状と課題を分析し、日本政府への提言をまとめたものです。目標8「働きがいも経済成長も」においては「民間企業による障害者雇用が増加する一方、約8割が正規以外の労働条件の雇用形態になっています。新型コロナウイルスによる経営悪化やテレワーク移行の難しさによる障害者の解雇・失業が懸念されます。」

原発事故から11年、ふるさとに帰れない人も大勢います終わっていません。「中部電力は『電力の安定供給の確保に向けて、再稼働も不可欠、着実に歩みを進めていかなければならない』と再稼働の準備をすすめています。これは、再稼働に反対する県民世論を無視するものです。原発の再稼働でなく、再生可能エネルギーへの転換を進めるべきです。」

## 職場の安全衛生を実現するために

静岡県安全健康センター No. 91

### 講演会のお知らせ

日時：6月5日（日）14時 13時30分受付  
会場：静岡労政会館 視聴覚室  
講演：「職場でハラスメントを防止するために」  
講師：天笠 崇（あまがさ たかし）医師  
共催：静岡県安全健康センター・静岡県評

講師の天笠医師は、労働と精神医学を積極的に関連づけて研究されている全国でも数少ない医師で「東京いの健センター」の理事長、社会医学研究センター代表理事など積極的な社会活動もされている、稀有な方です。過去に数多くの過労死事件などの医学的意見書を書かれてきたことでも知られています。現在、静岡社会健康医学大学院大学に在職し、同時に代々木病院の精神医療に取り組んでいます。代々木病院では精神科医療を提供しています。毎月の延べ患者数は約1300人前後、デイケア（大規模）を付設しています。毎週「労働精神科外来」を開設、「根拠に基づく医療」を実践しています。静岡社会健康医学大学院大学では、研究テーマは労働ストレス要因と精神疾患、職場のメンタルヘルス対策等。担当は環境健康科学・産業衛生学、行動医学等です。著書は「救える死 自殺のない社会へ」「成果主義とメンタルヘルス」「うつ病診療における精神療法」など多数。